

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年01月15日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学研究科経営学専攻
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年12月22日
明治大学卒業予定年月	2024年03月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	イースト・アングリア(日本語名) University of East Anglia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年09月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:ノーリッチビジネススクール 現地言語での名称:Norwich Business School <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期:9 月中旬～12 月中旬 2 学期: ～ 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	16,872
創立年	1963

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	1,450	268,766 円	
食費	1,000	185,349 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	30	5,560 円	
現地交通費	100	18,535 円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400	74,140 円	
被服費	100	18,535 円	
医療費		円	
保険費	243	45,000 円	形態: 明治大学側の保険料
渡航旅費	1,500	278,023 円	
ビザ申請費	500	92,674 円	
雑費	1,000	185,349 円	
その他		円	
その他		円	
合計	6,323	1,171,960 円	



渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:	イスタンブール 目的地:ロンドン 経由地:
復路 出発地:	ロンドン 目的地:ペキン 経由地:
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合	航空会社:
	料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合	往路 航空会社:AEGEN 料金:450 ポンド
	復路 航空会社:Cathay Pacific 料金:800 ポンド ∴合計:1250 ポンド
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/>	旅行代理店(店名:)
<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット(サイト名:)
<input type="checkbox"/>	その他()
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	学生寮(寮の名前:Owell Close) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/>	個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/>	バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:	
大学からのメールに従い、大学のポータルサイトから申し込んだ。	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私が泊まったところは他のところより少し狭かったが、暖かった。そこに住んでいるのは、地元のイギリス人学生と多くの留学生である。たまに小さなパーティーもある。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ノーリッチはとても安全だと思う。しかし、夜は街灯が薄暗いから、一人で出歩かない方がいい。また、ロンドンに行く場合は、盗難が多いので身の回り品には気をつけよう。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、キャンパス内、図書館はWi-Fiネットワークを共有しており、インターネットのスピードは基本的にとても速い。ただし、携帯電話のインターネット・スピードは選ぶ会社によって異なる。私はgiffgaffを使っているが、あまり良くなかった。特に外出時のインターネットのスピードはとても遅い!

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に現金とクレジットカードを使っていた。両方を持っていれば問題がない。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

何でも買えるが、ちょっと値段が高い。料理用の日本の調味料を持っていけばいいかも。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to accounting and finance		会計と財務入門
科目設置学部・研究科	Norwich Business School	
履修期間	秋学期	
単位数	20 単位	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 と 50 分が各 1 回	
担当教授	James Armes	
授業内容	主に会計・財務関連の基礎知識の紹介することである。	
試験・課題等	オンラインで教科書を読むことが成績の 20%に相当する。普段は宿題がなく、期末試験は 2 時間のオンライン試験である。	
感想を自由記入	会計学専攻の学生にとっては難しいことではないはずだ。会計学を専攻していない学生にとっては、計算問題はやはりやや難しい。復習に気を配る必要がある。	



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing communications	マーケティング・コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	秋学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアルと講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回
担当教授	Tony Polack、Scott Summers、James Parslow-Williams
授業内容	マーケティング広告の作り方、マーケティング法律、デジタルマーケティングの状況などを学ぶことである。
試験・課題等	講義とセミナーの形である。学期中は、一回 6 人か 7 人のグループで広告を作り、発表する。学期末は、英語の 3000 字の個人レポートを提出することである。
感想を自由記入	先生たちはとても優しい。グループで広告を作る課題は少し大変だった。しかし、全体的には良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Business	国際ビジネス
科目設置学部・研究科	Norwich Business School
履修期間	秋学期
単位数	20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 と 50 分が各 1 回
担当教授	Sean Ennis
授業内容	国際ビジネスに関する一般知識である。
試験・課題等	学期半ばには、最終報告に向けた 500 語のレポートがある。学期末には 3000 語のレポートが提出される。普段は宿題がない。
感想を自由記入	先生はとても優しくかった。普段の授業にはプレッシャーは全くない。学期末にきちんとレポートを書けば問題ない。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	明治大学内での出願
留学開始年	1 月 ~ 3 月	留学先決定
	4 月 ~ 7 月	留学先大学出願(4 月)、正式受け入れ許可、Visa 申請(7 月)
	8 月 ~ 9 月	渡航準備、渡航
	10 月 ~ 12 月	秋学期 9 月~12 月
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	帰国、期末試験 1 月中旬
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

【留学先を選んだ理由】

イギリスで経営学の勉強を続けるために、イギリスにいくつかある学校の中から、自然環境が良く、静かなイースト・アングリア大学を選びました。学校は都心にとっても近く、バスで 20 分ほどで街の中心部に行くことができます。バス停も私の住んでいるところから 1 分くらいなので、非常に便利です。治安もよく、日中の一人旅も問題ありませんでした。

【留学生活全般】

授業の先生はとても優しいので、何か質問があれば直接先生に聞いてもいいです。授業の後、図書館に勉強に行くことができます。24 時間なので便利です。入学当初、1 週間は留学生のための歓迎会や各種紹介会、2 週間は学校全体の新生に対する歓迎会などを用意します。だから授業前までに 2 週間の適期があり、来たばかりで何もわからない心配はありません。学校にはたくさんのサークルがあり、自分の興味のあるサークルを選ぶことができます。体育部のサークルに入ることもできます。会費は少し高いですが、私は以前フリスビーをやっていたので、フリスビー部に入りました。部活についてたくさんの試合に参加して、とても楽しかったです。学校にはバーとクラブがあり、毎晩イベントがあります。特に休日には、クラブはテーマ別のイベントがあり、とてもにぎやかです。キャンパスにいても、必要な娯楽生活をすべて見つけることができると言えます。

【留学を志す後輩学生へのアドバイス】

留学ができて本当に良かったと思います。まず、留学の目的を明確した方が良いでしょう。学業、キャリア、言語、文化交流など、何を求めているのかを事前に理解することが重要です。次に、予め言語力を高める努力をしておくといいです。皆さんに良い留学生活がありますように。

